

こどもランド

KPUnews No. 172 (JAN. 2013) より抜粋

■こどもランドを主催してみて

今年の京葉祭では、地域交流を目的とした新しい委員ができ、私達は“こどもランド”を担当することになりました。

こどもランドとは、近隣の幼稚園のお子さんや保護者の方に、馴染みの薄かった大学に足を運んでもらい、「堅い」というイメージをなくしてもらうことや、毎年京葉生だけで楽しんでいる学祭に地域の方にも楽しんでもらえるような学祭がしたいという目的のために考えました。そのため、何度も近隣の幼稚園を訪問させていただき、先生方と一緒に企画を練ってきました。

私達としては、薬科大学という特色を生かした誰でも簡単にできる科学実験をしたいと考えました。そして夏休みから準備に取り掛かり、10月からは子供の安全を第一に考え、何度も試行錯誤を繰り返し、学生実習支援センターの先生方や学生課の方々のご協力のもと実験や縁日の内容を決定することができました。

当日のこどもランドでは、縁日（ヨーヨーつり、魚つり、パズル、的当てなど）と家庭でもできる簡単科学実験（空気砲、ダイラタンシー、ペーパークロマトグラフィ、オブラートの溶解実験）を行いました。

縁日用の、パズルや魚、的などは全て実行委員が毎日地道に作ってきたものだったので、行列ができるほど並んで頂けたときは本当に感動し、それまでの1ヶ月半の苦勞が報われる思いでした。子供達も6つの縁日を何度も回り、各縁日の担当の実行委員と仲良く遊んでいて、実行委員も普段あまり触れ合うことのない子供達と楽しい時間を過ごすことができ、日々の勉学で疲れた心がとても癒され、また元気をもらうことができました。

家庭でもできる簡単科学実験は、先生方も気にかけてくださり当日は学生実習支援センターの先生方および学生課の職員の方もこどもランドのスタッフとして参加して頂きました。事前に幼稚園で確認して頂いた参加人数よりも多くの参加者が集まってくださるということだったので、限られた人数で対応しきれぬのか不安でしたが、先生方のご支援ご協力のおかげで無事大成功に終わりました。実験が1時間おきにあったにも関わらず、何度も同じお子さんが足を運んでくれて色々な実験に参加してくれました。各実験で原理などを説明したときは子供達よりも保護者の方の方が内容に興味を持ってくださり、実験について私達に色々質問をしてくれたのでこちらとしてもとてもやりがいがありました。参加して頂いた保護者の方々や子供達には、これらの実験を通じて科学をもっと身近に感じて頂けたのではないかと思います。

今回のこどもランド企画を通して、地域の方々が今まで以上に大学に足を運んでくださり学祭全体も活気溢れるものとなりました。今回参加して下さった保護者の方々から、「来年からもぜひこどもランド企画を続けてほしい」というご意見を多く頂いたので、こどもランドに限らず、地域交流を目的とした企画を後輩に受け継いでほしいと考えています。

最後になりましたが、この度こどもランド企画に携わってくださった近隣の幼稚園の先生方、保護者の皆様、学生実習支援センター及び学生課をはじめとする教職員の方々のご支援、ご協力で深く感謝するとともに厚くお礼申し上げます。

3年次生 伊藤なつこ／谷口 麻美

■教員から見たこどもランド

2012年度の京葉祭では、新しい企画の一つとして地域交流を深めることを目的とした“こどもランド”が京葉祭実行委員主催のもと、11月3、4日の二日間にわたって開催されました。本企画は、主に近隣施設の一つであるアヴェ・マリア幼稚園と寺西幼稚園（順不同）の園児を対象に、簡単な実験を通して自然の不思議を体験してもらうとともに、地域交流を深めるきっかけの一つになればと企画されました。このような地域交流は住宅地の中にある本学では特に重要な企画の一つであり、これまで山科地区の小学生を対象とした理科教室を学生実習支援センターが中心となって実施してまいりました。今回のこどもランドは対象を小学生に限定することなく、更に対象幅を幼稚園児にまで拡大した大変チャレンジングな企画であり、本学の学生が新しい試みへ貪欲に挑戦しようとする前向きな姿勢の現れと捉えることが出来るでしょう。しかしながら、小さな子供を対象とした実験企画は多少なりとも危険を伴うことが懸念されるため、これまでの理科教室で多少なりともノウハウを蓄積してきた学生実習支援センター及び学生課の職員もサポートという立場で今回のこどもランドに参加させて頂きました。今回開催されたこどもランドでは、幼稚園の先生方が園児及び保護者の方々へ本企画の案内や参加斡旋を行って頂いたお陰で、下は1歳児から上は小学生まで保護者をあわせて総勢319名という非常に多くの参加者の中、次の4つの実験を学生及び教職員と共に楽しみました。これらの実験は全て学生が中心となって考案された企画であり、小さな子供から大人まで安全かつ手軽に楽しむことが可能で、薬学生としての知識と工夫そして彼らのアイデアがたくさん詰まっているという印象を強く受けました。

まず初めにオブラートの特性を利用した実験を行いました。油性マジックで絵を書いたオブラートを水に浮かべると、絵を書いた部分のみが溶け残り、水面に残った絵を手や指に貼り付ける実験を楽しみました。また、家庭にある物を利用して水性ペンの色素をそれぞれの色に分離するクロマトグラフィーの実験では、黒や茶色といったペンの色が虹のような鮮やかな模様へ分離する様子を観察することが出来ました。さらに、水溶性片栗粉を用いたダイラタンシーの実験では、水溶性片栗粉を固く握って固まったかと思つた瞬間、力を抜くと一瞬で液体に戻る不思議な現象を泥遊び(!?)を交えながら楽しみました。その他、工作実験としてテレビでもお馴染みの空気砲を作りました。今回作った空気砲はペットボトルと風船を材料に用いた家庭でも簡単にできる物ですが、その空気の威力は予想以上に強く、家族や友達さらには学生達と一緒に打ち合いを楽しむことが出来ました。

これらの実験は家庭でも簡単に行えるだけでなく、全ての実験に科学の不思議が含まれています。参加して頂いた保護者の方々や年齢の少し大きな子供達にはその不思議を楽しんでもらうことが出来ました。実際、“なぜこうなるのか？”といった質問を大人だけでなく、比較的小さな子供からも受けることができ、子供の科学に対する関心の高さに驚かされる一面もありました。一方、年齢の小さな子供達にとってこのような理屈は少々難しかったかもしれませんが、普段、家庭や幼稚園ではやらない遊びや現象を通じて、実験遊びを楽しんでもらうことが出来ました。今回の企画では参加者の年齢層が1歳から大人までと大変幅広く、参加者全員が安全に実験を楽しむことが出来るか不安一杯でスタートしましたが、子供から大人まで参加者全員がそれぞれの興味と関心で実験に取り組むことができ、子供達をはじめ保護者の方々と楽しい時間を過ごすことで、地域交流を深めるという本企画の最も大きな目標を達成することが出来ま

した。また、今回のイベントでは、本学教職員のご家族も複数参加して頂け、大学教員の枠を超えて地域の方々との交流を深めることが出来たのではないかと思います。今後、このような企画があれば、皆さんも気軽に参加してみても如何でしょうか？

今回のこどもランド企画では、打ち合わせの段階から参加させて頂きましたが、学外施設との打ち合わせの場においても、学生が中心となって話を進める場面も多々見られ、本学の学生が社会人に向けて着実に成長している様子を伺う事ができました。このような成長は、長期実務実習等の学外での教育を受ける機会が多い昨今の薬学教育において、本学学生が学外の施設においても立派に実習をこなし、さらには卒業後、社会に出ても即戦力として活躍できる人材に着実に成長している証の一つと言えるでしょう。今回の企画は初めての試みでしたが、以下のアンケート結果の抜粋にもありますように、地域の方々に変な好評を得ることが出来ました。今後も本学学生にはこのような地域交流を深めることを目的とした企画に挑戦し、学内外の人達と協力してより良いものを創り上げるプロセスを通じて更なる成長をしてほしいと思います。最後に、本こどもランドに多大なご協力を頂きましたアヴェ・マリア幼稚園と寺西幼稚園の先生方にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

学生実習支援センター 助教 小関 稔

■幼稚園の先生、保護者の方からのコメント

大学祭の貴重な時間の中で、地域の子供達のために、遊ばせていただける楽しいスペースを用意して下さり、特に、薬科大学らしい科学の実験的な要素のある遊びを考えて下さり、とても興味深かったです。

子供達が参加できる科学遊びはなかなかないので、科学好きの親や子供達が参加させていただける企画をよろしく願い致します。

アヴェ・マリア幼稚園 園長 松永 昌子

以前より、子供に科学に興味を持って欲しいと思っておりましたが、幼児向けの科学を学べる場所がなかなかありませんでした。そんな時に、幼稚園より薬大祭の案内を貰いました。実験内容がとても面白そうなので、参加させて頂くことにしました。

子供達のお目当ての実験は空気砲です。到着した時には、魔法のペンの実験がしていたので、魔法のペン・空気砲と2つの実験をさせてもらいました。実験は両方共、家庭にあるような物で行われていましたが、子供達は、身近なものが変化する様子に興味津々でした。また、大人用に実験内容がよく分かるプリントが用意されており、それを読むことで、より深く理解することができました。子供達は、帰宅後、もう一度実験をして遊んでおりました。

子供ランドの中には、縁日のような遊びが沢山用意されており、子供も大人もとても楽しむことが出来ました。

また、このように子供達が科学を身近に接することのできる機会を今後も提供して頂ければと思います。本当にありがとうございました。

アヴェ・マリア幼稚園 保護者 1

小4の娘はステージでダンスを踊らせていただき、憧れの薬大で踊れるということで、とても喜んでいました。年長児の娘が、まず興味をもったのはフェイスペインティングで、かわいらしくしてもらったことで、テンションがあがったようでした。

ちびっこランドでは、手作りのパズルや輪投げ等々、最初は恥ずかしがっていたものの、やはり興味ひかれるものばかりでしたので、次はこれ、次はこれと自分で選んで参加していました。特に魚釣りは工夫されていて、くじのような要素も含まれていましたので、もう一回したいという気持ちがわいたようでした。

学生の方々もとても優しく対応してくださったので、参加しやすかったです。どうもありがとうございました。

アヴェ・マリア幼稚園 保護者 2

・門の所の案内が無く、立ち番をしている学生さんも案内するわけでもなく…先に行っていた友人に電話をして「そのまま、どんだん中に入っておいて」と教えてもらいました。門の所は、本当に静かだったので、門に案内があるとわかりやすいと思います。

- ・屋台の食べ物は発想がおもしろくて味もおいしかったです。
- ・フェイスペイントは無料でしたし、子供たちも初体験で凄く喜んでいました。
- ・椅子が沢山あったので、子連れの食事には大変助かりました。
- ・部外者を呼ぶイベントであるなら、トイレの案内がわかり易い所にあればいいと思います。
- ・実験は、とても興味深く、子供も大喜びでした。
- ・ゲームもすごく喜んでいました。お菓子や消しゴムまで頂けて、申し訳ないくらいでした。室内の遊び場を準備して頂いて安全に子供が遊べたので、親としては、本当に助かりました。
- ・学生さんたちも手探りながら、優しく子供に接してくれました。ありがとうございました。

(まとめ)

学生さんのための学祭に私たちも呼んで頂き、すごく楽しませて頂き、ありがとうございました。初めて学内に入りましたが、施設もとてもきれいでした。図書館や学食も使えたら、もっと身近になるなあと思います。

アヴェ・マリア幼稚園 保護者 3

〈アンケートの抜粋〉

今回のこどもランドでは、参加者の方々に学生課主催のアンケートを実施させて頂きました。以下にアンケートの一部を抜粋して記載させて頂いております。今後は、頂いた意見を参考に地域の方々と共に楽しめるイベントを企画していければと思います。

- こういう交流があって良かったし、もっといろんな事で交流できるといいと思いました。
- 子供がとても楽しんでいました。実験も簡単にできるものなので子供が喜んでいました。
- 空気砲に子供が大喜びでした。
- 子供に理解できるように何を指すための学校であるかなどを表に出してほしい。
- 来年4月から小学生になる息子に理科に興味を持ってもらえた気がしました。
- 薬のことなど、簡単な講座（子供と共に聞ける話）があればよいなと思います。今日の実験はとても楽しかったです。
- 薬ってどんな役目？ など小・中向けの話がきけたらいいです。
- 実験教室が人気です。学校で教えてくれない科学について教室があるといいです。
- 初めて来たのですが、子供も参加できることを知っておどろきました。また来年も来たいと思います。
- 薬大というと「かたくなるしい、難しい、近よりがたい」というイメージがありましたが、楽しい実験などで、親子ともども楽しめました。
- いろいろなサークル活動が、園に来て子供に見せていただきたいです。
- 子供に科学への興味を持たせたいので、今後もこうした企画を増やしてもらいたいです。
- 今の子どもたちは外で自由にいろいろやってみて発見する喜びや機会がないので、草木や簡単な実験に接する機会を地域交流として与えていただければうれしいです。
- 小学生を連れてきました。大学に遊びにこれるといいのが良かったです。幼稚園児は大学に来ているという意識はないようですが、楽しんでいました。
- お姉さん、お兄さんに遊んでもらったのがうれしかったみたいです。
- こういった企画があると大学内に来やすいので、ぜひ、また開いてほしいです。
- 今回のような科学的なことを知らずに子供が修得できるような企画は面白いと思います。
- 今回の実験は、子供が待てる短時間で興味あるものでとても良かった。またやってほしい。
- 実験する事がはじめてだったので楽しめました。このような企画をぜひ今後もお願いします。



オブラート実験 説明風景



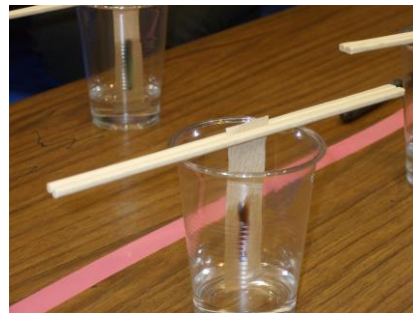
オブラートを水に浮かべた様子



キレイに手に貼れたよ



どんな色が出てくるのかな



色が分かれてきたの分かった〜？



空気砲で遊ぶ子供達



スタッフに向けて空気砲をバー



お父さんそっちのけで空気砲に



ダイラタンシーで泥遊び!?



強く握ると固い水溶性片栗粉だけど…



力を緩めた途端、どろどろに